

にいがた労福協

ライフサポートセンター

No.57 2024年4月15日発行
 一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会
 〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2
 Tel 025-281-0890 Fax 025-281-0891
 E-mail ni-rfk@bz04.plala.or.jp
 URL <http://www.niigataken-rofukukyo.com/>
 発行責任者 石本伸二

未来を作り出す力を育める社会をめざして

「奨学生成果報告会・奨学金無料相談会」を開催

3月3日(日)、新潟ユニゾンプラザの大研修室において「奨学生成果報告会・奨学金無料相談会」がほぼ満席の111名の参加者で開催されました。

この集会は、県労福協が参加している新潟県奨学金ネットワークと未来応援奨学金にいがたの2つの団体が実行委員会を結成して開催したものです。

冒頭、新潟県奨学金ネットワークの江花代表から「誰もが等しく教育を受けられるようにすることは社会全体で取り組むべき問題です。今後、経済状況に左右されることなく誰もが教育機会を平等に享受できる社会をめざして活動を進めていきます。」とのあいさつがあり、来賓の花角県知事からは「給付型奨学金を取り組んでいる皆さまの努力に敬意を表します。官の支援制度だけではカバーができていない。皆さまのような志を持った思いのある人たちが必要。引き続き皆さまとともに夢を追いかけて挑戦できる、学ぶことのできる新潟県をめざしたい。」との

決意や奨学生に対しての激励のあいさつをいただきました。

その後、奨学金問題の現状と課題を事務局から説明し、参加者全体での共有をはかりました。

続いて、給付型奨学金を利用している高校生10名と大学生1名が今の思いを発表し、現在の学生生活や将来の夢、支援への感謝などが熱く語られました。

その後、参加者を10のグループ

に分けて、発表を受けてのグループディスカッションを行いました。奨学生の生の声を聞いて良かった、これからも応援したいなどの多くの意見が出されました。

今後、成果報告会を開催していくとともに、奨学金問題を広く社会にアピールし、給付型奨学金の拡大や教育費の軽減を求め、若者が未来に希望が持てる社会をめざしていきます。



花角県知事からのあいさつ



新潟ろうきん福祉財団 「高校生に対する奨学金給付事業」

中学校を卒業する皆さん・保護者の皆さまへ

2024年度 高校奨学生 募集!!

返済不要

【募集概要】

応募資格 ①新潟県民の子どもにして、新潟県内の高等学校(中等教育学校後期課程・特別支援学校高等部含む)に2024年度進学した生徒(新一年生のみ)で、経済的な事情で就学困難と認められる方。
②家族収入が300万円以内の方。 ※家族収入は父母の収入合計となります。

募集人数 上限 **100名**

奨学金給付額 月額 **1万円** (3年間の奨学金給付総額36万円) ※返済は不要です。

応募受付期間 **2024年4月10日(水)から5月10日(金)**

【応募手続き】

応募方法 高等学校入学後、**在学する高等学校等を経由した申込み**となります。

応募書類 入学した高等学校からお受け取りください。
※2024年4月1日以降、当財団ホームページからもダウンロードできます。

公益財団法人 新潟ろうきん福祉財団とは?

お問い合わせ先 **公益財団法人 新潟ろうきん福祉財団 (奨学金担当)**
〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2 勤労福祉部庶務課
TEL:025(288)5273 FAX:025(288)5274
URL <https://www.zaidan-hukushi.or.jp>

QRコード (2024年3月現在)

第6回地区労福協 事務局長会議

3月27日(水)地区労福協事務局長
会議を開催しました。

会議には10地区中8地区の事務局長、
県労福協、連合新潟、新潟ろうきん福
祉財団の役員16名が参加し、牧野理
事長から地区労福協活動の重要性につ
いて挨拶がありました。

会議では、一年間の活動の評価・反
省と次年度の活動計画を報告すると
もに、今後の地区労福協活動の充実強
化に向け、より具体的な活動を進める
ための意見交換を行いました。

県ライフサポートセンターの事業に
ついては、全県的に相談者の掘り起し
に向けた取り組みの意思統一を行いま
した。

各地区とも創意工夫を凝らした様々
な活動を今後も充実させていくとの決

日本難病・疾病団体協議会(JPA) 国会請願署名活動報告(13,476筆集約)

県労福協は、すべての人間の尊厳が
何よりも大切にされる社会の実現に向
け、患者とその家族への支援として、
2024年度の難病国会請願署名活動
を行いました。取り組み3年目となっ
た今回の活動は、3月20日現在、13,
476筆を集約することができました。

意が述べられました。ただ、一方で活
動を広げることの難しさも意見として
出されました。

今後必ずすべての働く人の幸せと豊か
さをめざす労福協活動に自信と誇りを
もって、地域に根差した活動を行政や
NPO、市民団体等と連携して取り組
んでいくことを、会議参加者全員で確
認しました。

皆さま
の地区労
福協活動
へのご理
解とご協
力、積極
的なご参
加をお願
いいたし
ます。



(昨年9,756筆)

組織、団結の力を改めて強く感じる
結果となりました。関係各位の協力に
深く感謝申し上げます。要請事項が早
期に解決できるよう、今後もJPAと
連携して活動を進めます。

長時間労働の是正に向けて 取り組みの一層の前進を!

誰もが安心して、健康に働き続けられる環境づくりのために、
職場の状況を確認し、長時間労働の是正の取り組みを一層前進させよう!



定期的
に
状況
を
チ
ェ
ッ
ク
!!

36協定の適正な締結のための 点検・見直しに取り組もう!



36協定締結時のチェックポイント

- 時間外・休日労働が必要となる
具体的な事由と業務の種類を定めましょう
- 業務の棚卸し、人員体制の見直し等により、
時間外労働等を最小限にしましょう
- 限度時間(月45時間、年360時間)以内と
しましょう
- やむを得ず「特別条項」付となる場合も、
限度時間にできるだけ近づけるようにしましょう

労働時間制度の 適正な運用を徹底しよう!

- 労働時間の適正な把握と管理
- 労使協議等における確認・見直しを進めよう
- 健康・福祉確保措置の実施!
- 裁量労働制に対する取り組み

Action!



労働相談ホットライン





おかげさまで70周年

新住まいる共済

火災共済・自然災害共済

組合員の声にお応えして風水害への保障が手厚く！
大きな被害でも小さな被害でも安心をお届けします。

保障額の拡大

生活再建に十分な共済金をお支払い
できるよう、風水害等共済金の支払
限度額を最高6,000万円に拡大します。
(ベーシック(旧・大型タイプ)の
保障額拡大)

保障の改善

軽微な損害(10万円以下の損害)も
風水害等共済金の支払対象になりま
す。

自然災害共済の 総支払限度額の引き上げ

近年増大する自然災害リスクに対応
し、風水害等および地震等に対する
総支払限度額を段階的に引き上げ、
より一層大きな安心をお届けします。

こくみん共済
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

新潟推進本部
(新潟県総合生活協同組合)

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業
を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある
暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、
出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となること
で各種共済制度をご利用いただけます。



コープデリにいがた

「あなたらしさ」が選べる生協、 コープデリです。

コープデリは、関東・信越1都7県で335万以上の世帯にご登録いただいている、日本最大の生協です。
たくさんの宅配サービスや生協があるなかで支持されている理由はきっと、それぞれの「ぴったり」が見つかるから。
原料へのこだわり、価格帯、家族の人数、etc... どんなニーズもおまかせください。

コープデリなら、つかうほどじぶんらしくなれるあれこれが
選べる、見つかる。



コープデリが大切にしている6つのこと



豊かで楽しい
食卓へ。

ふだんのくらしに必要な
商品を提供し、
毎日のくらしに貢献します。



安心して
家族へ。

提供する全ての食品の
安全性の確保に
取り組みます。



声を
かたちに。

組合員さんの声を
大切にしたコープ商品を
開発・提供します。



つながり、
育む。

生産者と組合員さんを
つなぐ「産直」に
取り組みます。



「食べる」を
伝える。

食育「たべる、たいせつ」を
通じて食による健康なくらしを
提案していきます。



未来に
つなげる。

環境にやさしい
事業とくらしを目指します。

ご加入手続きは
簡単!

今すぐ! Webでお申し込み

コープデリ 加入

検索



こちらからも
アクセスできます



中央労福協 第1回地方労福協会議

2月28日(水) 第1回地方労福協会議が、東京都千代田区の連合会館において開催され、全国47の地方労福協の役員が参加し、新潟県からは石本専務理事が参加しました。
①2024年度活動計画、②年間スケジュールの説明を受け、安心して働き暮らせる社会をめざして各種取り組みを進めることを、全国の労福協で意思統一しました。
その後、グループワークを実施して2023全国福祉強化キャンペーン活動総括などの意見交換を行いました。

東部ブロック 第242回幹事会報告

3月21日(木)、東部ブロック労福協第242回幹事会が長野市「長野ホテル犀北館」において、11都県の労福協から18名の参加で開催されました。
東部ブロック・吉成会長、長野県労福協・中山会長の挨拶の後、中央労福協・南部事務局長が当面の取り組みについての説明を行いました。
協議事項では、①2024年度の日程、②第15期福祉リーダー塾について、③諸会議の内容について協議し、福祉

リーダー塾については、6月11日(火)〜12日(水)(1泊2日)に開催することを確認しました。
各県報告においては、創意工夫して労福協活動の推進に向け活動が行われている実践報告がありました。
新潟県労福協からは、「県知事要請」「勤労者駅伝大会」「奨学生成果報告会・奨学金無料相談会」「難病署名」の取り組みなどの報告を行いました。

能登半島地震 義援金のご報告と御礼

2月26日(月) 長野県労福協・中山理事長が来所され、能登半島地震の義援金として30万円を寄贈していただきました。その他にも労福協東部ブロック、東京労福協、栃木県労福協からの義援金をいただきました。

また、新潟県内の各地区労福協からも義援金の取り組みをいただきました。義援金は、連合新潟の災害救援カンパ口座に集約をして、復興に活用してまいります。各地から寄せられた温か



い励ましに心から感謝いたしますとともに県労福協としても今後の災害復興に向けた様々な支援を取り組んでまいります。



義援金をいただいた団体	金額
東部ブロック協議会 (労福協)	200,000円
東京労福協	100,000円
栃木県労福協	100,000円
長野県労福協	300,000円
新潟県労福協	110,435円
上越地区労福協	53,631円
県央地区労福協	25,395円
糸魚川地区労福協	93,465円
柏崎地区労福協	37,134円



新潟ろうきん夢咲Clubは

〈ろうきん〉に加入していない事業所にお勤めの方が
 〈ろうきん〉を利用する際にご加入いただくメンバーズクラブです!

ご入会 新潟ろうきんの県内26店舗で入会手続きができます。
 加入申込書は新潟ろうきんの全店舗に備え付けてあります。*入会金や会費は必要ありません

ご加入いただける方 新潟ろうきんとお取引がある、あるいはお取引を予定されている方で、以下のいずれかの加入条件を満たす15歳以上の方となります。

- 1 新潟県内に居住または勤務する勤労者の方など
- 2 将来、新潟県内に居住または勤務する予定のある方

おもな活動と会員サービス

- 会報誌「夢咲Club通信」の発行
- 暮らしに役立つイベントなどの開催
- 安心の無料相談ネットワーク(弁護士無料法律相談、健康ダイヤルなど)

ご加入は最寄りのろうきん本支店窓口へ。お問い合わせは新潟ろうきん夢咲Clubまで。

新潟ろうきん夢咲Club

〒951-8113 新潟市中央区寄居町332番地38 新潟県労働金庫本店5階
 TEL 025-201-8765 FAX 025-201-8755
<https://www.n-yume.jp> **新潟ろうきん夢咲Club**

ローン見直しで ヤッター大作戦

● 2024年4月1日(日) → 12月30日(月) ●

期間中に他金融機関ローンの借換えを用途として
各種ローン(30万円以上)を新規ご契約いただいた方の中から

合計370名様に当たる!

今こそ(ろうきん)で
借換えだべえ〜

A賞
 ダイソン
 Dyson Pure
 Hot+Cool Link™
 空気清浄機能付
 ファンヒーター
 HP03 IS
10名様

B賞
 北陸復興支援カタログギフト
 (さくらコース) [エコタイプ(封筒型)]
160名様
※画像はイメージです。
 ※商品ラインアップに変更が生じる場合も
 ございますのでご了承ください。

C賞
 新潟ろうきん×ヤッターマン
 オリジナル
 QUOカード
 1,000円分
200名様
※賞品の画像は
 イメージであり、
 実際のもとは
 異なる場合が
 あります。

抽選・当選発表

●抽選は前期・後期の2回に分けて行います。前期は4月～7月の契約者を対象に8月に、後期は8月～12月の契約者を対象に2025年1月に行います。当選本数は、前期はA賞4本、B賞70本、C賞90本、後期はA賞6本、B賞90本、C賞110本とさせていただきます。●当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。●前期分の賞品発送は8月～9月、後期分の賞品発送は2025年1月～2月の予定です。
※証書貸付につきましては、返済年数2年以上の契約が対象となります。※自己預金担保ローンは対象外とさせていただきます。※マイプラン等の当座貸越商品は、期間中に借換えを用途として新規契約し30万円以上の借入実績がある契約が対象となります。※キャンペーンについて詳しくは(ろうきん)へお問い合わせください。

詳しくはこちら

新潟ろうきん



長岡地区

【子どものことをもって おとなが知らないなきゃ!】

2月20日から3月2日の間、「2024ながおかワーク&ライフセミナー」を開催。企画開催団体の協力で5講座を行い、345名の方が参加しました。

第1講座は「①差別のないこと②子どもにとって最も良いこと③命を守られ成長できること④子どもの意見の尊重」を網羅した「子どもの権利条約」策定を求め、新潟県立大学小池先生の講演を開催。「蔵王の杜プレイパーク」が企画開催。今、新潟県は子ども条例制定作業を進めており、特に④点が重要だ。子どもは自分に関係のある事柄について自由に意見を表すことができ、おとなはその意見を子どもの発達状態にに応じて十分に考慮すること。

第2講座は韓国映画「あしたの少女」上映会を「長岡アジア映画祭実行委員会」が企画。午後、夜の2回実施。午後は退職者連合の会員が多

く参加。韓国の実話をもとに作った映画で、制度の犠牲になった女子高生生の自殺を受け、真実を解き明かす刑事の物語。この映画は、韓国の教育関係者に大きな影響を与え、結果として「次の犠牲を出さない」運動が起き、国の法律改正に結び付いた。

第3講座は、農業体験を通じて、ひきこもりの子どもを社会復帰させる活動を行っている「福祉市民型体験農園OasisR」が企画開催。労農フェスで体験した団体の交流、食べ物と腸内細菌の関連などの講演会を実施。従来の日本食は理になつており、食事を意識した生活を送ることが大切・腸をよくすれば肌もよくなる。と長岡中央病院の高橋先生が講演。体調不良の時は、①腸内



細菌を活性化させること②亜鉛欠乏症をなくすこと③ビタミンDを摂取することが重要。

第4講座は、子どものいじめや虐待について、「女のスベースながおか」企画開催。子ども人権ネットワーク「CAP」が講演。子どもたちの「①安心②自信③自由」について学んだ。学校等のプログラムが紹介され、小学5年生時代に戻った参加者に、この場合は?このときはどうするの?など質問回答形式を実施。

第5講座は、障がい者の気持ち、障がい者への理解、障がい者に伝えるやり方など、障がい者を体験し理解する活動を行っている「みつばち隊」の講演。「ゆいジョブながおか」企画。疑似体験では、「①笹団子②ボール③ちよつと④ちゃん」との言葉から想像できるものを書く作業や軍手を両手にはめた状態でシールを紙に移す作業、じゃんけんゲームなど体験した。皆さん想像して書けますか?障がい者の気持ちが少しわかったような講座でした。

各講座後には、アンケートを実施。講座内容は、「大変満足だ」という回答が多数あり。開催した我々も喜んでいきます。次年度以降に開催してほしい課題は、1位は「食」に関すること、2位は「医療・福祉・介護」、3位は「農業」に関するものでした。

昨年10月頃から、企画開催団体と折衝を重ね、ようやく実施した5講座でした。協力いただいた開催団体をはじめ、参加された皆さんに感謝し、来年も継続してながおかワーク&ライフセミナーを開催します。

糸魚川地区

【新春交歓会】

1月12日(金)ヒスイ王国館にて「2024年糸魚川地区労福協新春交歓会」を開催しました。新潟県労福協・江口事務局長をはじめ多数のご来賓の皆様からご臨席いただき総勢64名の参加となりました。

元日に発生した能登半島地震とその後余震が続く自粛ムードもあり開催を躊躇しましたが、地域経済の活性化による支援と参加者からの義援金を募つての支援という考えにより予

糸魚川地区労働者福祉協議会新春交歓会



定通り開催しました。
義援金は9万円を超え、連合新潟を通じて被災地支援に充てられました。

また、恒例の大抽選会では、みかん1箱やトイレットペーパー詰め合わせなどの大型商品も用意され、大いに盛り上がり参加者との交流も深まりました。

【ワーク&ライフセミナー】

2月15日(木)ヒスイ王国館にて「2024ワーク&ライフセミナー」を開催しました。

1部は「医師中村哲の仕事・働くということ」の上映会を行い、2部では講師の川原隆哲氏(ワーカーズコープ)から「協同労働って何?」と題して労働者協同組合法について講演をいただきました。

映画上映と講演を通じて、労働者が自ら地域に必要な仕事を起こし、地域を創るという労働運動について学びました。



上越地区

新年、1月9日(火)ホテルハイマートにおいて、上越地区労福協主催の「2024年新春交歓会」をご来賓15名を含めた136名の参加を頂き、賑々しくも盛況に開催しまし

た。飯田会長の年頭挨拶に始まり、ご来賓より、

牧野理事長、梅谷衆議院議員秘書熊倉様、城戸妙高市長、大山上越産



業部長、本山上越商工会議所副会頭より新春のご挨拶を頂きました。続いて、連合新潟小林会長の乾杯から、労働組合・労働金庫・こくみん共済coop・退職者連合は基より、各級議員や行政関係者、地元NPO団体の皆様との交流を深めながら、横山副会長の締めで、新春の集いを終えました。

当日は、「能登半島地震」復興支援カンパを行い、53,631円の義援金が集まりました。ご協力で感謝申し上げます。

柏崎地区

【新春賀詞交歓会】

―祈能登地震被災からの復興―

柏崎地区労福協主催で「新春賀詞交歓会」を1月26日に開催しました。

冒頭、参加者で能登半島地震の犠牲者に対し、黙とうを捧げ、賀詞交歓会をスタートしました。

昨年の賀詞交歓会は、新型ウィルス感染を警戒し、着座を基本とする

ものでしたが、本年はアトラクションに、豪華景品(?)付きの抽選会を取り入れ、盛り上がりました。

また、能登半島地震被災者への義援金カンパを取り組み、青年女性委員会の役員が、各テーブルを回り、37,134円のご協力を頂きました。

ご来賓には、柏崎市副市長西巻様、県労福協会長牧野茂夫様からご出席いただき、ご挨拶を賜りました。

満席となる68名の参加で、夕刻からの降雪にめげない賀詞交歓会になりました。

【ワーク&ライフセミナー】

2月23日開催67名参加

ワーク&ライフセミナーは、内容を第1部、第2部に分けて開催しました。

第一部

柏崎市元気支援課の方から、働き盛りの年代の自殺増加傾向の現状を踏まえ、副題を、「あなたとあなたの大切な人の為に」として、ゲートキーパー養成講座を行いました。

講座を通して、「気づいて・寄り添って・つながって」悩み事に「耳を傾け」

相談窓口につながる事、ゲートキーパーの役割を理解



できたとの感想が寄せられました。

第二部

「ストレスとの上手な付き合い方」と題して、関病院阿部病院長の講演をお聞きしました。

「ストレスたまっていませんか?」「ストレスのことを知り、対処法を身に付けることで、気持ち楽になることがあります」などのスライドを使っ



た説明があり、講演後は、自身のストレスチェックも行いました。

ワークショップでは阿部先生が各テーブルを回り助言を頂きました。お菓子をつまみながら好評でした。一般の方も、多数参加いただきました。

当日は、フードバンク柏崎から、フードドライブを開いていただきました。箱一杯になりました。

新潟地区

【新春の集い】

2024年新春の集いを盛大に開催

1月25日(木)18時30分より新潟東映ホテルに於きまして、「2024年 新潟地区労福協 新春の集い」を開催しました。昨年に新型コロナウイルス感染症が5類に移行さ

れたことを受け、4年前の規模に戻し、総勢147名の参加のもと盛大に開催することができました。

会には、



新潟県労福協の牧野理事長・連合新潟の小林会長並びに新潟市中川経済部長をはじめ、多数のご来賓の皆さまからご臨席をいただきました。また、開会に先立ちアトラクションとして、万代太鼓「華龍」による「担ぎ太鼓・篠笛・獅子舞万代太鼓」が華やかに披露されました。実に4年ぶりとなる大規模な新年会となりましたが、席を移動しての交流も多く見受けられ、互いに活発な交流が図られ、楽しい新年会となりました。

2024年は、「能登半島」を震源とする大地震が発生するということ、まさに激動の幕開けとなりましたが、被災された皆さまにお見舞い申し上げますとともに、新潟地区労福協としても社会福祉活動に努めながら取り組んでまいります。

【新潟市へ要請行動実施】

新潟地区労福協では新潟市に対して、2月9日(金) 14時30分より新潟市役所本庁において、労働者福祉に関する要請行動を行いました。

丸山会長より「すべての働く人の幸せと豊かさを目指して連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」の実現を目指す労福協の取り組み方針に理解をいただき対応願いたいとの挨拶がなされ、続いて大岩事務局長より、①東日本大震災の被災者・避難者支援について②格差貧困社会の是正・セーフティネットの強化について③奨学金制度の拡充・改善と教育費の負担軽減について等に加え、この度の能登半島地震の対応についても明記し、全8項目について説明され、要請書を野島副市長へ提出しました。野島副市長からは、「新型コロナウイルス感染症が5類へ移行されたが、その後の夏の猛暑や物価の高騰、更には能登半島地震が発生し、大変困難な生活環境が余儀なくされている。高齢者や社会的弱者へのアプローチ等を中心に市としての情報のスピードと正確性を保ち、新潟市独自の支援制度等も検討しながら対応していく。」との見解が示されました。



国際交流

**2024年在日本大韓国民団
新潟県地方本部「新春の集い」**

1月14日(日)、在日本大韓国民団新潟県地方本部主催の新春の集いが新潟東映ホテルにおいて、国会議員、各級議員をはじめ多くの来賓を迎え、約100名の参加者のもとで盛大に開催されました。

はじめに鄭和仁団長から「これまで両国の関係のこじれやコロナ禍で思うような交流ができなかった。今日は、思う存分交流を深めてください。」との挨拶があり、続いて権相熙韓国総領事が尹大統領からのメッセージを読み上げました。

来賓挨拶では新潟県日韓親善協会片桐会長から「戦争が終結しない。やめさせなければいけない。平和を目指すには民間交流が大切。あの国と戦争したくないという気持ちを育てる。」との訴えがなされました。

余興では、国際音楽・ダンス・エンタテイメントによるステージがありました。

新型コロナウイルス感染対策などの制限も

なくなり自由に交流できる会場は、大いに盛り上がり有意義な新春の集いとなりました。



調査・研究事業報告

2024年度連載／第1回

持続可能な社会と働き方を考える —人口減少・超高齢社会の現実、 そして希望は—

公益社団法人新潟県自治研究センター

【2023年度報告書 発刊】

2023年度の受託研究として、新潟県自治研究センターがまとめた報告書『「超高齢社会と人口減少社会での働き方政策の課題」に関する調査・研究—少子・高齢化、人口減少・持続可能な社会と働き方を考える—』（2024年3月発刊）について、今年度も引き続き貴重な紙面を頂戴し、概要紹介の機会をいただけることに心から感謝申し上げます。今回紹介する総括論文も含め、新潟県労福協ホームページにおいて全文がPDFで公開されており、この連載がご活用いただく際の一助となれば幸いです。

何かを考察したものとなっている。総括論文については、横田昌三氏（元内閣専門調査員）から執筆いただき、テーマ別論文は自治研究センターの研究メンバーが担当した。今回は、横田氏の総括論文について概要を紹介したい。

【持続可能な社会とするために】

日本創成会議が「消滅可能性都市」を公表した2014年以降、当時の安倍政権による「地方創生」路線が始まり、少子・高齢、人口減少社会と東京一極集中は正のさまざまな施策が掲げられてきた。しかし、その流れは止まることなく、目標は先延ばしにされているのが現実である。

国立社会保障・人口問題研究所によれば、2040年からすべての都道府県で人口が減少し、その後は多くの地域で高齢者の人口も減少するという。とりわけ、新潟県の人口は3割以上少なくなると見込まれており、状況はよ

り深刻である。人口減少は生産・経済活動の縮小・後退をもたらし、税収の縮小、スケールメリットの喪失、社会保障費増大などによる財政の悪化につながり、その一方で、地域の担い手の減少が社会的基盤領域の需要に応えきれない事態を生み出すことが指摘されている。

横田氏は、少子・高齢、人口減少の影響は、「2024年問題」といわれる物流や地域公共交通での労働力不足という形ですであらわれていることを示し、リクルートの研究機関の報告書などにも触れながら、「労働供給制約社会」（労働の担い手となる現役世代の割合が不足する社会）のあり様を述べていく。

横田氏はこうした問題について、「ほかの地域と移住者を奪い合う」ことでは解決できるものでない点を明確に指摘し、社会全体の構造的な解決を図る必要があることを論じていく。そして、地域の雇用、生活を支える小規模事業者、地域の文化への支援強化などの必要性とともに、自治体に対しては、「住民福祉の増進」という本来持つ最大の任務こそが、人口減少のなかで持続可能な社会をつくる鍵であると説く。「大規模、集中、グローバル」から「小規模、分散、ローカル」への視点が、「経済活動のための都市」から「生活のためという希望を私たちに提示している。

そのためにも、「地方分権（権限）」、「地方分散（財源、人材）」をどれだけ進められるかが問われてくるのである。

また、自治体の担い手不足についても論及しており、自治体職員の減少がたとえば能登半島地震に際して、どのような現実としてあらわれたのかという事例も示している。

さらに、「中低所得者層、女性、中小ビジネス・ベンチャー企業などへの公正な融資を金融機関に義務づけ」、「地域全体の需要」に応えていくことを目的とする日本版『地域再投資法』をはじめ、法制度の提案が列挙されており、国政の政策の現場でも活躍されている横田氏らしい論考となっている。

最後に横田氏は、新自由主義的政策がもたらした少子化・人口減少に対して、破壊されたコモン（共有財・公共財）を再生し、管理する「自治」の力を育てる必要性を強調する。その意味で「職場とつながり地域に根ざす」意義は大きく、労働者福祉協議会と多くの勤労者への期待も述べられている。

国や県内各自治体の今年度の予算は、こうした議論にかなうものとなっているだろうか。地域レベルでの学習会等の際にも、ぜひご活用いただければと願うものである。

（文責・新潟県自治研究センター

齋藤 喜和）

編集後記

今後の日程	
4月	12日 (金) 中央労福協学習会 (web) 中央労福協奨学金問題対策委員会 (web)
	15日 (月) にいがた協同ネット企画会議 (勤労福祉会館)
	24日 (水) 中央労福協第2回幹事会 (web) 新潟県日韓親善協会理事会 (新潟東映ホテル)
	25日 (木) 新潟市PS第1回支援調整会議 (勤労福祉会館)
	26日 (金) こくみん共済coop新潟推進本部代表委員会 (coop会館)
	27日 (土) 第95回新潟県中央メーデー (新潟市中央区)
	5月
9日 (木) 中央労福協第2回生活・就労支援連絡会議 (web)	
15日 (水) 新潟県労福協第37回チャリティーゴルフ大会 (フォレストカントリー倶楽部)	
16日 (木) 中央労福協学習会 (web)	
17日 (金) 定期監査 (勤労福祉会館)	
21日 (火) 新潟県日韓親善協会総会 (新潟東映ホテル)	
23日 (木) 新潟市PS第2回支援調整会議 (勤労福祉会館)	
6月	6日 (木) ~ 8日 (土) 中央労福協全国研究集会 (沖縄県)
	11日 (火) ~ 12日 (水) 東部ブロック第15期福祉リーダー塾 (静岡県三島市)
	12日 (水) 新潟県日口親善協会総会 (新潟東映ホテル)
	15日 (土) 消費生活ネットワーク総会 (勤労福祉会館)
	20日 (木) 新潟県労福協第47回定時総会 (新潟東映ホテル)
	21日 (金) こくみん共済coop新潟推進本部代表委員会 (coop会館) 長岡地区労福協総会 (長岡市連合中越地協事務所)
	25日 (火) 新潟県労働金庫第72回通常総会 (ANAクラウンプラザホテル新潟)
27日 (木) 新潟市PS第3回支援調整会議 (勤労福祉会館)	
7月	5日 (金) ~ 6日 (土) 新潟県労福協第11期福祉リーダー塾 (万代シルバーホテル)

❖元日に起きた能登半島地震は3か月たった今でも8000名を超える避難者がいて、断水も続いている場所がある。新潟県内も含めて復興は遅れているようだ。それでも厳しい冬を乗り越え、春は訪れ、陽光は降りそそぐ。復興・復興を急ぎたい。

❖改めて自然災害の怖さと災害への備えの必要性、そして助け合うことの大切さを痛感した。「助けて」と言える、「助けて」と言いやすい地域や関係性をつくることは重要な防災対策になる

だろう。そういう地域や仲間づくりを労福協活動の中心にすえて取り組みたい。

❖その一方で、地震や津波の偽情報がSNSで大量に流されたという。発信元は途上国が多く、偽情報で閲覧数を稼ぎ、広告収入を得るのが目的らしい。AIなどを使って簡単に動画などの捏造もできてしまうようだ。驚くような情報などを見たら、一呼吸置いて冷静に物事を見極める目と本質を見抜く見識を持ちたい。

❖便利な世の中になることはすばらしいことだが、昭和、平成、令和を生きてきた筆者にとっての常識は、今の非

常識となつていくことも多いようだ。意味不明のカタカナ語が多くなってきた。時代遅れといわれないために、自分を失わないように注意しながら「アップデート」をしていく必要があるだろう。

❖先日、給付型奨学金を受けている高校生の成果報告会を開催した。希望に満ちた将来をめざして授業や部活動に取り組む姿勢は、すがすがしい感動を与えてくれた。私たちが取り組んでいる奨学金問題の改善に向けた取り組みの必要性を再確認することができた。

❖株価は最高値更新、春闘は賃上げ額が過去最高などの景気のいい話が聞か

れるのはうれしい話だ。しかし、実感として感じられないのは何故だろうか。労福協が受託している「生活困窮者自立相談支援事業」の現場では、容赦のない物価高騰が困窮者を直撃している。フードバンクは配布すべき食料が集まらず危機的な状況にあるという。新年度を迎えた今こそ格差や貧困のない社会の実現も決意を新たに取り組みたい。

❖新年度がスタートした。新しい出会いや出来事が待っている。すべての皆さまにすばらしい出会いと幸福が訪れますように。

(新光町の疾風怒涛)